

1019. Krull / 豫想 = ツイテ, II

中山 正 (阪大)

I = オイテ Krull / 豫想 / べくと百束 / 場合 (ソノ)

場合ハサウナルト予想シタノデハナカシクモ知レマセンガ)ノ反例ヲ述べタ、次ニ Krullノ豫想ノ本素ノ場合即チ整域ノ場合ニツイテ反例ヲ述べヨウ。即チ *vollständig ganz-abgeschlossen*¹⁾デシカモ *spiegellich* + *Bewertungsringe*ノ Durchschnittトシテ表ハサレタイ様ノ整域ヲ作ル。ソレニハベクヒ百束ニオケル反例ニ依存シテ次ノ様ニ構成ヲスル: (\mathbb{I} ニ於ル如ク)

A ノ Complete + \mathfrak{m} -束デ \mathbb{I} ニオケル条件ヲミタスモノ、即チソノ表現空間 Ω (完全不連結且ツびこむばくヒ)ニオイテ Ω ノ任意ノ一点ニ對シテ其処デノ階カニ $+\infty$ ニツイテ *nowhere dense set*ヲノゾイテハ有限値ヲトル連続函数が存在スル様ニナツテキルモノデアアル。

然ルトキ Ω ノ上ノ連続函数デ *nowhere dense set*ヲノゾイテ有限ナルモノノ全体ガーツノあるきめです的ベクヒ百束ヲナシ、シカシソレハ如何ナル空間ノ有限値ノ函数ノ束ニヨツテモ同型ニ表現サレタイノデアアツタ。

サテ、実数又ハ $\pm\infty$ 値ノ函数トセズ、(正又ハ負人ハ〇)
 1) 整数及ビ $\pm\infty$ ノ値ヲトル連続函数デ而モ $\pm\infty$ ニナルハ *nowhere dense set*ノミナルモノノ全体ヲ考へレバコレガマハリ 束群ニナルコトハ明カデアアル(上述ノ部分束群)、勿論あるきめです的デアアル。サテ我々ノ空間 Ω ノハソノ任意ノ点ニ對シテ、ソコデ $+\infty$ ニナル、コノ様ノ函数ガ實際存在スル。

1) 即チ Artinノ意味デ *vollständig* + *ganz-abgeschlossen*。

ソレハ I デ實際作ツク函数ハ整数又ハ $\pm\infty$ ノミヲトル
 モ、デアツク。ヨツテ I = 於ケルト全ク同様ニシテコノ束群
 モ如何ナル空間ノ有限実函数ノ束群デ同型ニ表ハサレナイ。

我々、空間 Ω ノ各点 $p = \text{abstract}$ = ツノ変數
 x_p ヲ對應サセル。任意ニツノ体 K ヲトル。 Ω ノ有限
 個ノ点 $\{p_1, \dots, p_s\}$ ヲ考へ、ソレニ對應スル變數 $x_{p_1},$
 \dots, x_{p_s} ノ K = 於ケル多項式 $F(p_1, \dots, p_s)$ 多項式ト
 デモ呼ブ。 $\{p_1, \dots, p_s\}$ ノ部分集合 $\{p_1, \dots, p_t\}$ ヲト
 リ、 (p_1, \dots, p_s) 多項式 $F(p_1, \dots, p_s)$ 及ビ (p_1, \dots, p_t) 多
 項式 $F(p_1, \dots, p_t) = \text{オイテ}$ 、前者 = オイテ $x_{p_{t+1}} = \dots$
 $\dots = x_{p_s} = 1$ トオイタ時ニ後者 = ナル場合ニ、コレヲ

$$F(p_1, \dots, p_s) \gg F(p_1, \dots, p_t)$$

トデモ書クコトニスル。

次ニ $\Omega = \text{オケル多項式列 } \{F; P\}$ ヲ次ノ如ク定義
 スル： $\Omega = \text{オケルツノ第一種集合 } P$ ガアツテ、 $P =$ 属サ
 又任意ノ有限個ノ点 $p_1, \dots, p_s =$ ハ常ニツノ $(p_1, \dots,$
 $\dots, p_s)$ 多項式 $F(p_1, \dots, p_s)$ ガ對應シテ居リ、而シテ
 $\{p_1, \dots, p_s\} \supseteq \{p_1, \dots, p_t\} + \text{ヲ常} = F(p_1, \dots, p_s)$
 $\gg F(p_1, \dots, p_t)$ トナツテキルトスル、カナル system
 ヲ多項式列トヨビ $\{F; P\}$ デ表ハス。

ニツノ多項式列 $\{F; P_1\}, \{G; P_2\} = \text{オイテ } P_1 \cup P_2$
 ヲフクムアル第一種集合ニ属サヌ $p_1, \dots, p_s =$ 対シテハ對應
 スル多項式ガ同一デアラナラバ、コレヲ兩列ハ同値デアルト
 見テ、以下同一視スルトスル。

又, $P_1 \cup P_2 =$ 對應シ、ソレニ屬サヌ $P_1, \dots, P_s =$ 對シテハ $F(P_1 \dots P_s) + G(P_1 \dots P_s)$ が對應シテキル多項式列 (コレが上記 i), ii) ノミタスコトハ明カ) ノ多項式列 $\{F; P_1\}, \{G; P_1\}$ ノ和ト定義スル。積ニツイテモ同様ニスル。

コレニヨツテ多項式列 (ノ類) ノ全体 R ガ一ツノ環ヲナスコト明カデアアル。更ニ整域ナルコトモ明カデアアラウ。

コノ R ハ vollständig ganzabgeschlossen デアル。即チニツノ多項式列 $\{F; P_1\}, \{G; P_2\}$ 及ビ 0 デナイ $\{H; P_3\}$ がアツテ、スベテノ $\nu = 1, 2, \dots =$ 對シテ $\{F; P_1\}^\nu \{H; P_3\}$ が $\{G; P_2\}^\nu$ ヲ割リキレルナラバ $\{F; P_1\}$ ハ $\{G; P_2\}$ デ割リキレル。即チスベテノ $\nu =$ 對シテ $\{F; P_1\}^\nu \{H; P_3\} = \{G; P_2\}^\nu \{K^{(\nu)}; P_4\}$ ナル多項式列 $\{K^{(\nu)}; P_4\}$ がアルナラバ $\{F; P_1\} = \{G; P_2\} \{L; P_4\} + \{L; P_4\}$ がアル。

(ν ノ証明) コノ假定ガミタサレテキルトスル。

P_1, P_2, P_3 及ビスベテノ $P^{(\nu)}$ (ソレヲ *join* モ勿論第一種集合デアアル) ノスベテヲフクム適當ニ第一種集合 P ヲトレバ、ソレニ屬サヌ点ノ有限集合 $P_1, \dots, P_s =$ 對シテハ常ニ $F(P_1, \dots, P_s), G(\dots), H(\dots), K^{(\nu)}(\dots)$ が對應シテ居テ常ニ

$$F(P_1 \dots P_s)^\nu H(\dots) = G(\dots)^\nu K^{(\nu)}(\dots)$$

トアツテキル。

サテ $\{H; P_3\}$ ハ假定ニヨリ 0 デナイ。マタ $\{G;$

P_2 } が 0 ノトキ (従ッテ $\{F; P_1\} \in O$ デアル) ニハ主張
 ハ自明デアルカラ、以下 $\{G; P_2\} \in O$ デタイトスル、ヨッ
 テ $P =$ 属サ又適當ナ P_1, \dots, P_s ヲトレバ $H(P_1, \dots, P_s)$
 $\in G(P_1, \dots, P_s) \in O$ デタイ、コノ様ナ P_1, \dots, P_s
 ヲ臨時ニ固定シテ考ヘル。

$\{P_1, \dots, P_s\}$ ヲフケム $\{P_1, \dots, P_r\} =$ 対シテハ勿
 論 $H(P_1, \dots, P_r) \in G(P_1, \dots, P_r) \in O$ デタイ (多項式
 列ノ條件参照)、シカルニスベテノ $V =$ 對シテ $F(P_1, \dots,$
 $\dots, P_r) \vee H(P_1, \dots, P_r) \wedge G(P_1, \dots, P_r) \vee$ デ割リキ
 レルノデアアル。ヨッテ x_{P_1}, \dots, x_{P_r} ノ多項式 $F(P_1, \dots,$
 $\dots, P_r) \wedge G(P_1, \dots, P_r)$ デ割リキレル; $K[x_{P_1}, \dots,$
 $\dots, x_{P_r}]$ ナル多項式域ハ *vollständig ganz-*
abgeschlossen ナカラ!!

即チ

$$F(P_1, \dots, P_r) = G(P_1, \dots, P_r) L(P_1, \dots, P_r)$$

ナル (P_1, \dots, P_r) 多項式 $L(P_1, \dots, P_r)$ ガ存在スル。シ
 カ $\in G(P_1, \dots, P_r) \neq 0$ ナカラ一意的ニ定マル。而シテ
 $\{P_1, \dots, P_m\} \supseteq \{P_1, \dots, P_r\}$ ナラ $L(P_1, \dots, P_m)$
 $\Rightarrow L(P_1, \dots, P_r)$ トトッテキル、ソレハ $F(P_1, \dots, P_m)$
 $\Rightarrow F(P_1, \dots, P_r)$ 及ビ G ノ同様ナ關係ヨリ明カデアアル。

サテ $P =$ 属サ又点ノ任意ノ有限個 $Q_1, \dots, Q_t =$ 対
 シテハ Q_1, \dots, Q_t 及ビ上記 P_1, \dots, P_s ヲフケム (P
 $=$ 属サ又) 任意ノ有限点集合 P_1, \dots, P_r ヲトッテ $L(P_1, \dots,$
 $\dots, P_r)$ ヲ考ヘル、ソコニ於テ $Q_1, \dots, Q_t =$ 属サ又他ノ

変数ヲミナトシテ生ズル所ノ $(\alpha_1, \dots, \alpha_t)$ 多項式ヲ $L(\alpha_1, \dots, \alpha_r)$ ト定義スル。コレハ β_1, \dots, β_r ノトリ方 = 無関係ノコトハ上記ヨリ明カデア。更ニ、 $\{\alpha_1, \dots, \alpha_u\} \subseteq \{\alpha_1, \dots, \alpha_t\}$ ノトキ $L(\alpha_1, \dots, \alpha_u) \ll L(\alpha_1, \dots, \alpha_t)$ ナルコトニ明カデア。何故ナラ $L(\alpha_1, \dots, \alpha_t)$ ヲ得テ上テ更ニ $\alpha_{u+1}, \dots, \alpha_t$ ヲ 0 = スレバヤハリ $L(\alpha_1, \dots, \alpha_u)$ トナルベキデアカラデア。

ヨツテ、コノ $L(\dots)$ = ヨツテ一ツノ多項式 $\{L; P\}$ ガ得ラレル。シカモ $\{F; P_1\} = \{G; P_2\} \{L; P\}$ デアル。何者、 $\{\beta_1, \dots, \beta_r\} \supseteq \{\beta_1, \dots, \beta_s\}$ = 対シテハ

$$F(\beta_1, \dots, \beta_r) = G(\dots) L(\dots)$$

デアリ、シテガツテ変数ノ幾ツカラ / = スル事 = ヨツテ任意ノ $\alpha_1, \dots, \alpha_t$ ($\notin P$) = 対シテモ $F(\alpha_1, \dots, \alpha_t) = G(\dots) L(\dots)$ トナルカラデア。

ヨツテ我カノ多項式列ノ環 R ガ *vollständig ganzabgescher* ナ整域ナルコトガ証明サレタ。

サテ、初メ = 考ヘタ東群ノ元、スナハチ Ω = オケル整数又ハ $\pm \infty$ 値連続函数 f デアル *nowhere dense*

set N = オイテ / : $\pm \infty$ トナルモノヲ考ヘル。シカシテ $f \geq 0$ ナル f = 対シテ次ノ如キ多項式列ガ對應サセラレル。即チ N = 属サヌ β_1, \dots, β_s = 対シテ

$$\alpha_{\beta_1}^{f(\beta_1)} \alpha_{\beta_2}^{f(\beta_2)} \dots \alpha_{\beta_s}^{f(\beta_s)}$$

ヲ對應サセル様ナ多項式列デア。コノ多項式列ヲ簡單

= $\{x^f; N\}$ が表ハス、シカラバ

$$\{x^{f_1}; N_1\} \times \{x^{f_2}; N_2\} = \{x^{f_1+f_2}; N_3\}$$

デアールコトハ眼カデアール。

而シテ、ニツノ $\{x^{f_1}; N_1\}, \{x^{f_2}; N_2\} =$ 於テ
苟若カ後若デ \mathcal{R} ノ中デ 割リキレルノハ $f_1 \geq f_2$ ナル時
= 得ルコトハ Ω ノ (両者カ有限ナ) 各点デ考ヘテミレバワ
カル。

カク $f \geq 0$ ナル $f =$ ハ 多項式列 $\{x^f; N\}$ カ對應スル
カ ≥ 0 トカザラヌ一般ノ元 $f =$ 対シテハ

$$f = f_1 - f_2 \quad (f_1 \geq 0, f_2 \geq 0)$$

トレテ \mathcal{R} ノ 商体 = オケル $\{x^{f_1}; N_1\} / \{x^{f_2}; N_2\}$ ヲ對
應サセル、コノ $= f_1, f_2$ ノ トリ方 = 無關係ナ f ノ ミデコ
ノ 商カキマルコトハ勿論明カデアール。カクテコノ 對應 = ヨリ
我々ノ 束群 (加法ヲ書イタガ) が \mathcal{R} ノ 商体 = オケル

$\{x^{f_1}; N_1\} / \{x^{f_2}; N_2\}$ ナル形ノ元ノ ナス 乘法群ト 同
型 = ナル。シカレテ 束群ノ ≥ 0 ナル元ハ 丁度コノ 乘法群中
 $\in \mathcal{R}$ ナルモノ = 對應スル。

今假 = \mathcal{R} がソノ 商体 = オケル *speziell + Bewertungsringe* ノ *durchschnitt* = ナツテキルト
スレバ *Bewertungen* ヲ我々ノ 乘法群 = ツイテ考ヘ
更 = 束群 = 移ツテミレバ、ソレハ我々ノ 束群ガ 実數値ノ
函数デ 同型 = 表現サレタコト = ナル (單 = 準同型デナク、
"同型" ナコトハスベテノ Wert が ≥ 0 ナラ $\in \mathcal{R}$ 、從
ツテ 對應スル元ガ 束群デ ≥ 0 ナルコトカラデアール)。コ

レハ矛盾。

ヨツテ R ハ *speziell* + *Bewertungsringe*
1 *Durchschnitt* トハナリ得ナイ、故 = Krull
1 豫想 1 反例が得ラレタワケデアル。

—— 以上 ——